



中欧能楽文化協会・日本
Central European Noh & Kyogen Culture Association

【Evening with the Traditional Performing Arts】

2014 V・4+Japan

ーゼミナール・V 4における日本古典芸能・能と狂言の夕べー



■公演日時：2014年11月5日（水）18.30開演

■場所：ブルノ市 モラヴィア国立美術館・劇場（客席約200名）



中欧能楽文化協会・日本
Central European Noh & Kyogen Culture Association

■公演 【第1部】

ロドヴィッチ前駐日ポーランド共和国大使によるプレゼンテーション



「ポーランドにおける日本古典芸能研究・能」
「新作能「調律師」ショパンについて」（映像付き説明）
「中欧における能楽研究について」のパネルディスカッション

元在日本ポーランド大使 Jadwiga Rodowicz 氏が自ら制作した新作能『調律師』ショパンについて語る。大使と同じ中央ヨーロッパの観客によりよく、理解しやすく能楽のよさを伝えます。日本で外国人の能楽作家の経験、新作能の演出などについてお話していただくことは、ヨーロッパでの観客に対して、貴重な、素晴らしいチャンスである。

【第二部】

チェコにおける狂言活動

「なごみ狂言会チェコ」による狂言公演（演目は『呼声』、又は『棒縛』）

なごみ狂言会は過去の14年間に、700回以上チェコで狂言を上演し、チェコを中心に、中央ヨーロッパの観光客に日本伝統系能である狂言の面白さ、楽しさを紹介してきた。セミプロ劇団としてヨーロッパで活躍し、「古典の狂言」をヨーロッパに「新しいジャンル」として紹介しています。チェコ国内で1000人以上の固定ファンを持ち、毎月定期公演を首都のプラハ、プルノで行う。狂言のファンに能楽の良さをRODOWICZ氏に語ってもらうことは、能のよさ、深さを「理解できる観客に」紹介する、素晴らしいチャンスと思われる。



中欧能楽文化協会・日本
Central European Noh & Kyogen Culture Association



2014年4月6日、ブルノ、なごみ狂言会チェコによる『くさびら』狂言上演



2014年8月26日、国立モラヴィアンギャラリー、なごみ狂言会チェコ定期公演



中欧能楽文化協会・日本
Central European Noh & Kyogen Culture Association

【第三部】

レセプション

レセプションにて、発表者、出演者及び参加の皆さんで意見交換、交流を行う。参加者は、主に演劇研究者、大学生、監督、記者、演劇のファンなど専門知識を持っている方々と予想される。このディスカッションから、次の公演、更に深いチェコ・ポーランド・日本の間の交流が生まれると十分期待できる。国立モラヴィアンギャラリー。（外見）



実際の会場の様子





中欧能楽文化協会・日本
Central European Noh & Kyogen Culture Association

■主催：中欧能楽文化協会、なごみ狂言会チェコ

www.kjogen.cz <https://www.facebook.com/groups/kjogen/>

■共催：国立モラヴィアンギャラリー

■後援：在チェコ日本大使館、2014年V4+日本交流年実行委員会、
日本外務省、日本チェコ友好協会、駐ポーランド日本大使館、駐ハン
ガリー日本大使館、駐スロバキア日本大使館、チェコ日本友好協会

■準備Ⅰ

1. 講演者ロドウィッチ大使夫妻 Presov への送迎、
2. ホテル宿泊

■準備Ⅱ

1. ロゴ入りチラシ、ポスター作製経費 ¥70,000
2. 講演者謝礼、交通、宿泊費 駐チェコ日本大使館負担
3. 会場使用費、イベント設定費 ¥200,000～¥300,000
4. 出演者、協力者への謝礼、装束経費 ¥45,000
5. 入場券発売の是非について未定

■連絡先：中欧能楽文化協会 ホームページ

<http://www.eu-nohgaku.com/convention.html>

常任委員会代表：大鷹節子 ohataka-s@h06.itscom.net
setsukohtak@gmail.com

小日向庸三 yyoozzoo@gmail.com

Ondrej Hybl ondrej.hybl@gmail.com

在チェコ日本大使館眞下文化担当書記官：megumi.mashimmo@mofa.go.jp

在ポーランド日本大使館大杉文化センター所長：megumi.osugi@mofa.go.jp

以上